

中小企業の経営の改善及び 地域の活性化のための取組みの状況

平成30年度



中小企業の経営支援に関する取組方針

当金庫は、金融業務を通じて「地域社会の繁栄に奉仕する」という基本方針のもと、地域の中小企業および個人のお客さまへ安定した資金供給を行うこと、そして非金融面においても地域の活性化のための各種事業を積極的に展開することが、地域金融機関として最も重要な社会的使命と考え、あらゆる方面から取り組んでおります。

中小企業の経営支援に関する態勢整備の状況

地域金融の円滑化のための基本方針、管理規程等を制定し、お客さまへのきめ細やかな経営改善支援を行うために「金融円滑化推進チーム」を設置するとともに、お客さまからの相談窓口を設置し、地域金融の円滑化に取り組んでおります。

中小企業の経営支援および金融仲介の取組みに関する状況

1. 創業・新規事業開拓の支援

(1)「新規創業者等育成支援業務」の受託

平成25年7月、鹿児島市から「新規創業者等育成支援業務」を受託いたしました。平成30年度も引続き同業務を受託。これにより、新規創業者や情報関連企業の育成支援に対して、インキュベーションマネージャーを常駐させ、独立、開業を目指すお客さまの事業計画立案のアドバイスや経営面でのサポートの充実を図り、新規創業を支援いたしました。



(平成30年度創業スキル養成講座)

① 新規創業者等育成支援業務における創業予定者や事業者への助言・アドバイス

項目	平成30年度
相談件数	1,204件

② 新規創業者等育成支援業務における新規創業先数および融資実績

項目	平成30年度
新規創業先数	34先
融資実績	15件/116百万円

中小企業の経営支援および金融仲介の取組みに関する状況

(2) そうしん創業者倶楽部

当金庫は、平成28年8月、創業を計画している「創業予定者」や事業のライフステージの中で難しい時期にある「創業後3年以内の事業者」の支援、地域経済の活性化を目的として「そうしん創業者倶楽部」を設立しました。

「創業アシスト訪問」は、創業者倶楽部会員の事業所等へ当金庫営業担当がお伺いして支援する制度で、創業期の課題解決に向けた伴走支援を実施しました。

(3) 女性のための創業支援

当金庫は、女性の起業をお手伝いする取り組みとして「女性のための起業セミナー」を毎年開催しております。セミナーでは県内で活躍する女性の先輩起業家を講師としてお招きし、“Cafe形式”のセミナーやトークセッションを通して起業のヒントを学んでいただきました。

(4) 当金庫における創業・新事業支援実績

項目	平成30年度
創業・新事業支援件数	62件
創業・新事業支援融資実績	33件/384百万円

中小企業の経営支援および金融仲介の取組みに関する状況

2. 成長段階における支援

(1) 中小企業支援施策における補助金等の活用支援実績

項目	平成30年度
補助金等の活用支援件数	17件

(2) そうしんビジネス・イノベーション大賞の実施

平成30年10月、県内企業の支援・育成を目的とした「そうしんビジネス・イノベーション大賞」の選考会を実施し、同年11月に独自性・革新性・市場性・将来性・地域性を基準に優れた企業・団体を三紘会総会にて表彰いたしました。

(3) 海外への事業展開支援

中国、東南アジア諸国を対象とした販路拡大や海外進出支援を実施しました。当金庫主催の国内商談会に海外バイヤーを招聘して県内企業とのビジネスマッチングや外国人技能実習制度の活用等、企業ニーズに応じた支援を実施いたしました。また、平成30年8月にはアジア最大級の食品商談会「フードエキスポ香港2018」に参加し、現地バイヤーとの商談を行いました。



(フードエキスポ香港2018)

中小企業の経営支援および金融仲介の取組みに関する状況

項目	平成30年度
海外進出支援件数	30件
フードエキスポ香港参加企業数	5社

(4) 県内の有力な地場産業の一つである茶業の支援

平成30年6月、当金庫全店で「お茶いっぱいの日」を実施し、お茶の販売促進を支援いたしました。

(5) ビジネスマッチングの実施

① 第13回そうしん食&アグリ特別商談会

平成30年4月、明治維新150年記念「そうしんかごっまうまかもん発掘フェア」を開催いたしました。来場者は約4,000名で、商談会には151社の企業に参加いただき、県内外・海外のバイヤーと個別商談を実施いたしました。



(そうしん食&アグリ特別商談会)

項目	平成30年度
ビジネスマッチング商談件数	570件

中小企業の経営支援および金融仲介の取組みに関する状況

② そうしんうまかもん市の開催

平成30年11月と平成31年3月に、当金庫の地産地消ネットワークづくりの一環として、鹿児島県内の地域産品（農産・水産・畜産・加工品）の生産・販売事業者の新規開拓と販売機会の拡大をサポートすることを目的として、イオン九州株式会社との共同企画で「そうしんうまかもん市」を開催いたしました。

③ 「南の逸品商談会 in Tokyo 2018」

平成30年9月6日～7日、東京（池袋）で実施されたビジネスフェアに参加しました。全国の食品が集まる商談会で、鹿児島の農畜産物、食品加工品等のPR・商談を行いました。

(6) 個人保証・不動産担保に依存しない融資の取組み実績

融資商品	平成30年度	
事業サポート	40件	65百万円
活力融資	527件	1,273百万円
ご近所ローン	621件	3,614百万円

中小企業の経営支援および金融仲介の取組みに関する状況

(7) 職員向けセミナー「いっぺこっぺ塾」の開催

平成30年度の職員向け土曜セミナー「いっぺこっぺ塾」は、40年ぶりに大改正された相続法に基づき、相続基礎知識と改正に関する相続内容にも応じられるよう、実践的な知識を養うことを目的として開催いたしました。

3. 経営改善・事業再生・業種転換等の支援

(1) 「中小企業支援ネットワーク強化事業」の支援機関として参加

当金庫は「かごしま中小企業再生支援ネットワーク」に支援機関として参加しています。平成30年度は代表者会議・連絡会議、研修会に2回参加いたしました。

(2) お取引先への提言等による事業計画策定支援

営業店・企業サポート部連携により、お取引先との経営会議等における経営改善提案等を通じて、事業計画策定支援を実施しております。平成30年度におけるお取引先との経営会議開催回数は92回となりました。

(3) 外部機関との連携等

県中小企業再生支援協議会等への相談促進を図り、経営改善計画策定やバンクミーティング等に積極的に参加しております。また、県産業支援センターとの連携により、カイゼンアドバイザー他専門家派遣による支援も行っております。

中小企業の経営支援および金融仲介の取組みに関する状況

4. 事業承継支援

お取引先の事業承継をサポートするため、事業承継相談、事業継続支援、事業承継セミナー等を行っております。

(1) そうしん事業承継アドバイザー制度

平成28年9月、事業承継に悩みや相談事を抱えているお取引先の課題を解決することを目的として、「そうしん事業承継アドバイザー制度」を創設致しました。当金庫お客さまサポートセンターや当金庫と連携する事業承継アドバイザー（※）等による無償経営アドバイス等のサポートを実施しております。

（※）そうしん事業承継アドバイザー

公認会計士、税理士、司法書士、中小企業診断士、社会保険労務士、建設業コンサルタント、フードプロデューサー、トータルコーディネーター等

(2) 事業承継支援実績

項目	平成30年度
事業承継に関する相談受付件数	123件
事業承継に関する個別支援件数	35件

地域の活性化に関する取組み状況

1. SDGs(※)の取組み

(1)「そうしんSDGs宣言」

そうしんは、「超・地域密着経営」の発想のもと、信用金庫が持つ機能を活かして、地域の困りごと解決や持続可能性の向上に取り組んできました。その実績と経験をもとに、地域のための金融機関として、更なる地域の社会的・経済的課題の解決に取り組むとともに、環境保全活動へ貢献してまいります。また、地域の各主体とのパートナーシップの下、「SDGs(持続可能な開発目標)」の普及に努めてまいります。

【地域の社会的課題への取組み】

地域が抱える社会的課題に対して、当金庫が保有する様々な機能やネットワークを提供し、解決に向けた積極的な事業を展開します。

【地域の経済的課題への取組み】

地域が持つ資源を活かして、地域の産業、観光の活性化に取り組むとともに、金融支援や本業支援等を通じて、地域の皆さまが抱える経済的課題に真摯に取り組んでまいります。

【地域の環境保全活動への貢献】

環境保全を推進する自治体や事業者等の皆さまの経営支援、事業展開支援を行うとともに、地域貢献活動への積極的な参加を通じて、地域の環境保全活動へ貢献してまいります。

地域の活性化に関する取組み状況

国連が提唱するSDGsの考え方を活用し、持続可能な地域社会の実現に貢献することを目的として、「そうしんSDGs宣言」を行いました。SDGsについて表明・実行するのは、九州の金融機関では初の取り組みとなりました。

また、「そうしんSDGs宣言」に基づく第1号案件として、鹿児島県大崎町が取り組む、過疎化や人口減少を克服するための地方創生事業「リサイクル未来創生奨学金制度」を金融機関として支援するため、「リサイクル未来創生奨学ローン」を創設しました。



(リサイクル未来創生奨学ローン)

(※) SDGs(エスディージーズ)

SDGs(Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)とは、世界が抱える問題を解決し、持続可能な社会をつくるために、2030年に向けて世界各国が合意した17の目標と169のターゲット。経済的、社会的、環境的側面に横断的に関わる課題を解決するために、政府・自治体などの公的セクターだけでなく、金融機関を含む民間企業の力が大いに求められています。



地域の活性化に関する取り組み状況

(2)「生活者発想によるSDGs事業創造」研修

慶應義塾大学・鹿児島相互信用金庫・大崎町の主催で、平成31年1月、3日間にわたって「生活者発想によるSDGs事業創造」研修を実施しました。大学生や当金庫若手職員、役場若手職員が「SDGs」の視点に立ち、持続可能な社会生活構築のための事業プランを、1人1人が3日間で作り上げる研修を行いました。



(生活者発想によるSDGs事業創造研修)

2. 地域の活性化と人材確保支援

カバン持ち体験事業の実施

平成30年8月、地元学生のための就労支援および地元中小企業の人材確保と魅力発信のため、24名の学生と24社の中小企業が参加し、「カバン持ち体験事業」を実施いたしました。

地域の活性化に関する取組み状況

3. 金融教育活動支援

(1) そうしん“ハローキッズ”マネースクール

金融教育活動支援の一環として、小・中学生の金融知識の向上を目的とする「そうしん“ハローキッズ”マネースクール」を、平成30年度は3回開催しました。

(2) 子育て支援パスポート事業

子育て支援として鹿児島県の「子育て支援パスポート事業」に協賛し、子育て支援のための「子育て応援定期積金」等の金融商品の取扱いを継続しております。

「経営者保証に関するガイドライン」への取り組み

当金庫では、「経営者保証に関するガイドライン」の趣旨や内容を十分に踏まえ、お客さまからお借入れや保証債務整理の相談を受けた際に真摯に対応するための態勢を整備しています。また、経営者保証の必要性については、お客さまとの丁寧な対話により、法人と経営者の関係性や財務状況等の状況を把握し、ガイドラインの記載内容を踏まえて十分に検討するなど、適切な対応に努めています。

項目	平成30年度
新規に無保証で融資した件数	603件
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合	5.97%
保証契約を解除した件数	17件

※ 「保証債務整理」については、当金庫をメイン金融機関として成立に至った経営者保証に関するガイドラインに基づくお申し出はありませんでした。

ビジネスレポートの発行

当金庫では、鹿児島県内の中小企業の景況や経済トピックス等、お客さまのビジネスに役立つ情報を「ビジネスレポート」としてまとめ、年に4回発行しています。

- 中小企業動向調査結果
- 県内で活力あるユニークな取り組みをしている企業の紹介
- 鹿児島の経済トピックスや動向
- 医療・健康に関する情報
- 報道機関や支援機関の紹介等



地方創生に対する支援体制

1. そうしん地域おこし研究所の創設

平成29年8月、慶應義塾大学SFC研究所と「連携協力に係る覚書」を締結。「そうしん地域おこし研究所」を創設し、地域創生、CSV(共通価値の創造)経営等に関する研究・教育活動を行っています。



2. 慶應義塾大学SFC研究所との連携事業 (1) フードトラックプロジェクト

「防災の日」である平成30年9月1日、慶應義塾大学SFC研究所、辻調理師専門学校、株式会社mellow、鹿児島相互信用金庫の4者の呼びかけのもと、「地域おこし×災害支援フードトラックプロジェクト」を発足しました。このプロジェクトでは、全国各地の自治体や企業・団体等と協力して、多様な主体を結びつけるチカラを持つ「食」の観点から、「人材育成×社会課題×ビジネス」の相乗効果がある社会システムの構築を推進します。



地方創生に対する支援体制

(2)「長島大陸空き家活用ローン」の開発

平成30年10月、長島町と連携して空き家対策に取り組むために、賃借人専用の「リフォームローン」及び「つなぎローン」を開発しました。本商品は、長島町が空き家対策として実施している「長島町空き家改修費補助金」制度利用者専用の融資商品で、官・金が連携して空き家対策に取り組むために開発しました。自治体が創設した補助金に対し、金融機関が専用商品を開発してサポートする事例としては全国初(※当金庫調べ)の取り組みとなりました。

(3)阿久根市地域活性化共同事業

阿久根市、鹿児島国際大学と連携し、空き店舗を活用したチャレンジショップ事業を実施しました。平成30年12月、鹿児島国際大学の学生達による阿久根市駅前通り商店街の空き店舗を活用したチャレンジショップ・クリスマスイベントと映画「かぞくいろ」公開記念に合わせた観光ルート提案を兼ねたバル街モニターツアーを実施し、地元事業者と一緒に「街のにぎわい創り」に貢献しました。



地方創生に対する支援体制

3. そうしんアグリビジネスプランコンテスト

当県の農林水産業・食品加工の創業・新事業展開を促進し、地域経済の発展や地方創生に寄与することを目的として「そうしんアグリビジネスプランコンテスト」を開催いたしました。

第2回コンテストは23団体・事業者の応募があり、最終選考ではビジネスプランの発表が行われました。この事業は、日本財団「わがまち基金」を活用した事業です。



4. 信金広域交流事業

広域連携事業を締結している鶴岡信用金庫と連携して、戊辰の役を契機とし「徳の交わり」を誓い合った薩摩藩・庄内藩の歴史に学び、新時代への地域交流を深めるため、鹿児島島の「芋焼酎」と山形特産の「さくらんぼ」を使用した女性にも飲みやすいフルーティーなリキュール「さくらんぼリキュール」を制作しました。



地方創生に対する支援体制

5. そうしんアグリハイスchool支援事業

農業、食品業界の担い手となる農業高校生を支援する「そうしんアグリハイスchool支援事業」。

平成30年度は、県立曽於高校商業科の生徒が、地元業者である株式会社津曲食品と共同で、鹿児島県郷土菓子「あくまき」をおやつ・スイーツ感覚で食べられる土産品として、新商品「あくどら」を開発しました。当金庫は、デザイナー紹介等の商品企画から発表会、販売会のサポートを行いました。



6. そうしんビジネスイノベーション大賞

地域経済の発展・振興に優れた成果を上げた企業を表彰する「そうしんビジネスイノベーション大賞」。地元中小企業の発展・育成に寄与することを目的に毎年実施しています。



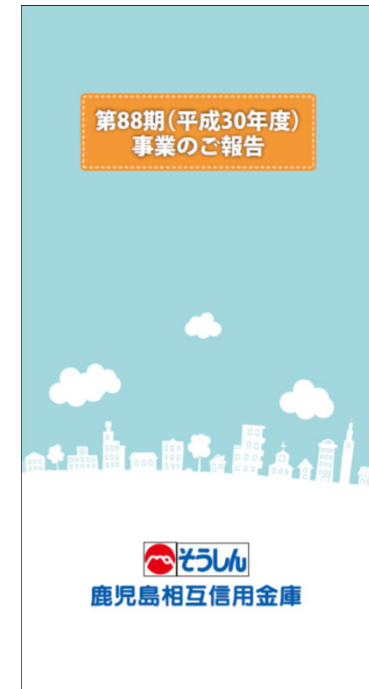
地域や利用者に対する積極的な情報発信

当金庫では、地域密着型金融の取組みに関して、ホームページやニュースリリース等を通じて、地域や利用者の方々に対し、積極的な情報発信を行っています。

また、ディスクロージャー誌等の発行により、会員の皆さまやお取引先の方々への情報発信の充実にも取り組んでいます。



ディスクロージャー誌
2019



ミニディスクロージャー誌
2019

元気なまちづくりを応援します



鹿児島相互信用金庫